

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 仙台市立東六番丁小学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピックを知ろう・触れよう・体感しよう

【実施学年、部、講座等】

第4学年(男子34名, 女子37名) 第5学年 (男子30名・女子33名)

第6学年 (男子44名・女子33名)

【目的・ねらい】

- ・オリンピック金メダリストの記録に挑戦し、記録のすごさを体感することを通して、オリンピックへの関心を高める。
- ・車椅子テニスプレーヤーとの触れ合いやプレーの見学を通して、障害者スポーツに関心を持つ。
- ・オリンピックに出場した選手やあと一步で出場を逃した選手から話を聞く中で、努力を続けることの大切さ、スポーツの持つすばらしさに気付く。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 (体育) ・ 道徳 ・ 外国語活動 ・ 総合的な学習の時間 ・ 特別活動
- ・ 教科以外での取組 ()

【実践内容等】

1 「ロンドンオリンピック男子マラソン金メダリストキプロティチ選手に挑戦しよう」(対象:6年)

・キプロティチ選手の記録を紹介し、50mを9秒平均で走れば同じタイムで走れることを伝えた。フルマラソンの10分の1の距離(校庭28周)を10人チームでリレーして走り、キプロティチ選手に勝てるかどうか投げかけた。子どもたちからは「絶対に勝てる」「えー、無理だよ」などの反応が出た。挑戦の日、子どもたちは仲間とバトンをつなぎながら全力で走り続けた。中には倒れ込むようにゴールする子もいたが、1位のチームでも1分以上キプロティチ選手よりも遅かった。「これ以上の速さで2時間走り続けるのはすごい」「金メダリストになるのは大変なんだ」という感想が聞かれた。表彰式では、小さいながらも金銀銅のメダルを用意し、授与式を行った。

2 「車椅子テニス選手の新田さんとの交流」(対象:4年, 6年)

・新田さんには下半身不随の障害を負ってから障害者スポーツを始めるまでを中心に話していただいた後、車椅子テニスの実演を見童相手にしていただいた。子どもたちは足を動かすことができなくてもスポーツができることや車椅子を素早く操ってボールを打ち返すことに驚きの感想を持つことができた。また、障害なく毎日を過ごすことができていることに対して感謝する気持ちを持った児童も多くいた。

3 「ハードル選手大朝さんとの交流」(対象:5年)

・元100mハードル日本記録保持者の大朝尚子さんをお招きし、講話とハードル教室を行った。講話では、日本選手権で0.03秒足りずオリンピック出場を逃した後も努力を続けていることを話していただいた。ハードル教室では走り方の基本やリズム走のコツを教えていただいた。子どもたちからは「くじけずに毎日努力を続けているのがすごい、自分も頑張りたい。」などの感想を持った。

4 「北京オリンピックソフトボールチーム金メダリスト染谷美佳選手との交流」

・講話の中では何度も合宿メンバーに選ばれながらも日本代表になれなかった経験から「諦めないでチャレンジし続けること」「人より努力すること」「オリンピックに出場することを通して人との絆が深まったこと」などを話して頂いた。その後、迫力のある投球を見せていただいたり、児童一人一人とのキャッチボールを行っていただいたりした。

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・Ⅰ 金メダリストの話の聞いたり金メダリストへの挑戦をしたりすることをオリンピックの素晴らしさやすごさを直接体験できるようにした。また、金メダルに直接触れる機会を設定した。
- ・Ⅲ 車椅子テニスプレーヤーの実技を見ることで、障害者スポーツを身近にとらえられるようにした。
- ・Ⅴ 金メダリストとキャッチボールしたり、ハードル選手に走り方を教えていただいたりする機会を通してスポーツに親しむ態度が育成されるように配慮した。

(成果)※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

・子どもたちの感想カードから

「染谷選手の Try Try Try の言葉からチャレンジを諦めない気持ちを学んだ。」

「金メダリストは努力のかたまりだと思った。他の人よりも努力することが大切だと学んだ。」

「みんなの力を合わせればキプロティチ選手に勝てると思ったけど、負けました。しかも10倍の距離を一人で走っているの、すごい体力があるのだなと思った。オリンピックに興味を持ちました。」

「車椅子に乗っていても自由自在に動きを操っていてボールを打ち返していてすごいと思った。」

「オリンピックに出られなくても、今でも努力を続けているのがすごいと思った。」

「走り方の基本を教えてもらったので、記録会ではかっこよくハードルを跳べるように頑張りたい。」

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・年度途中からの取組だったので、計画を立てにくかった。
- ・概要が大まかで、どのような取組がオリンピック・パラリンピックムーブメントにつながるのかを検討するのに時間が必要だった。
- ・オリンピック、パラリンピアンと連絡をとりたかったが、どこに連絡をとればよいのか分からず、また人選にも戸惑った。どこか窓口のようなものがあると連絡がしやすいと感じた。



金メダルに触れる子ども